

変化を恐れない……

校長 井上 敬夫

令和3年になりました。新しい年のスタートの区切りに、何かしらの決意を胸に秘めて日々過ごしている志村三生は、結構多いではありませんか。

主に会社経営者を対象にしたセミナーに縁があって参加したときのことです。その時、講師の方が面白い^{たと}喩え話をしていたのを思い出しました。

「脱皮しない蛇は、死んでしまう。」

蛇は脱皮を繰り返しながら大きく成長していきます。脱皮をしなければ成長が止まる＝生存できないということでしょう。現状維持は退化と同じだ。だから絶えず新しいものにチャレンジしていきなさいという意味で、蛇の話をしたと思います。端的に言えば、変化とは進化である。だから、変化を恐れてはいけなと戒めているのです。

変化と言えば、学校も大きく変わろうとしています。

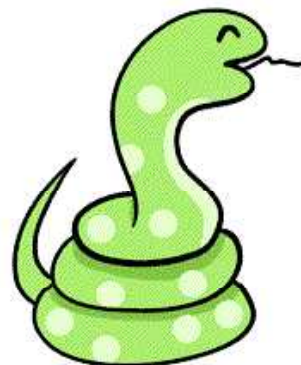
「GIGAスクール構想」といって、生徒一人一人にタブレットが配布されてパソコンと連動した学習が行われるようになります。家にいながら授業を受けること（リモート授業）がこれからは可能になります。これまでは調べ学習のためにパソコン室や図書室を利用していたのも、自分のタブレットで検索できるようになるでしょう。先生たちの授業のスタイルも大きく変化していきます。そもそも、学校で勉強すること自体も見直されるかもしれません。

「十年一昔^{じゅうねんひとむかし}」という言葉がありました。10年単位で時代が変化していくことを表現した言葉です。しかし、現在では1年単位でめまぐるしく世の中が変化しているように感じます。だからといって流行に乗り遅れるなど言いたいのではありません。変わらなければならないときに、一歩踏み出す勇気を持って欲しいと思うのです。

9年生の皆さんは、進路選択でこれまで悩みながらも1つの決断をして、前に向かって歩き始めました。義務教育を終えて次の段階に進むのは、これまでの人生において大きな変化と考えていいでしょう。心配や不安があるのは当たり前です。もう一度繰り返します。変化は進化です。自分が成長するための良い機会と捉えて全力で頑張ってください。

7・8年生の皆さんは、どんな^{小さい}小さなことでもいいから変化を恐れずに自分自身を高められるものを見つけて邁進^{まいしん}してもらいたいです。そのきっかけがこの1年の始まりであることを願っています。

去年はコロナ色の1年でした。今年はどんな1年になるのでしょうか。楽しみですね。



9年生・大縄跳び大会

12/22(火)体育館で9年生は大縄跳び大会をレクリエーションとして行いました。

今年度は運動会も中止になって何かクラスメイトが一体となって取り組むイベントがないかと考えて実現した企画です。練習



時間な全くないぶっつけ本番で跳んだ回数をクラス毎に競い合いました。しかし、さすが最上級生です。お互いに声を掛け合いながら頑張

って跳んでいました。受験勉強などで息が詰まるような毎日を過ごしている9年生たちでしたが、笑顔で楽しんでいる様子が素敵でした。



声を合わせてジャンプ！

6組・ダンス発表会

12/23(水)6組の保健体育の授業で取り組んでいるダンスの学年別発表会を体育館で行いました。エクササイズのようなダンスのDVDを見ながら、一生懸命に振り付けを覚えた生徒たちは、実に楽しそうにダンスを披露してくれました。

学年が進行するとフォーメーションなども取り入れてレベルが上がっているのが分かりました。

また、実演している学年以外の生徒たちは、きちんとした鑑賞マナーでダンスを見ていたところも立派だったと思います。ダンスが終わった後、見学していた他学年の先生のそばに来て踊りきった充実した笑顔を見せてくれたのが印象的でした。



第4回 i C S 委員会が行われました

12/19(土)第4回 i C S 委員会を実施しました。これまでの学校での教育活動の総括と来年度の大まかな予定、さらに今年度中に地域の方々に協力いただいて行う防災訓練の打ち合わせなど、盛りだくさんの内容で熟議しました。今年は新型コロナ感染症予防の



熟議の様子……

観点から、イレギュラーなことが多く発生しました。何とか乗り越えてこられたのは、地域・保護者の方々のご理解とご協力のお陰だったと実感しています。今回の熟議の中では、7年生の学年主任から職場体験に替わる「インタビュー形式の職業講話」の提案がされました。i C S 委員会のメンバーでもある地域支援コーディネーターの方々は、すぐに前向きに検討・協力を快諾いただきました。生徒のためを考えて協力を惜しまない「地域の力」を

再確認しました。今後とも宜しくお願い致します。

セーフティ教室

12/19(土)体育館ではセーフティ教室を実施しました。コロナ感染症予防対策のため、7年生だけを体育館に集めて、SNS上のトラブルなどの事例を具体的に挙げながら、スマートフォンなどのツールを正しく使うために注意しなければならないことを学びました。

近年の生徒間のトラブルは、SNSを介したものが増加傾向にあります。不特定多数の人間と簡単にコミュニケーションをとることが可能になるということは、それだけ個人情報拡散しやすいリスクを伴うわけです。ネット上では匿名性が高いだけに、誹謗中傷に晒される危険があるし、拡散した情報自体は半永久的に消すことが出来ない側面もあります。



誰もが気軽に情報を発信できる時代になったからこそ、ネット上のエチケットを守ることを肝に銘じるべきだと実感できたと思います。